

**品川区次世代育成支援対策推進行動計画(後期)  
主要事業の概要および実績  
(平成25年度主要事業カタログ)**

**平成25年6月1日**

**品川区**

# 目 次

## 基本目標①：だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり

健やか親子支援事業	〈保健センター〉	1
休日・小児夜間診療	〈健康課〉	2
すくすく赤ちゃん訪問事業	〈保健センター、子育て支援課〉	3
子育て相談(子育てプラン作成)	〈保育課〉	4
各種助成事業(子どもすこやか医療費助成)	〈青少年育成課〉	5
各種助成事業(私立幼稚園入園料・保育料、認証保育所保育料の助成)	〈保育課〉	6
チャイルドステーション事業(児童センター等)	〈子育て支援課〉	7
チャイルドステーション事業(保育園・幼稚園)	〈保育課〉	8
オアシスルームの運営	〈保育課〉	9
ファミリー・サポート事業	〈子育て支援課〉	10
品川区保育計画および待機児童対策	〈保育課〉	11
短時間就労対応型保育事業	〈保育課〉	14
特別保育事業	〈保育課〉	15
幼稚園預かり保育事業	〈保育課〉	16
事業所内育児支援事業	〈ものづくり・経営支援課〉	17
子ども発達支援事業	〈障害者福祉課〉	18
品川区要保護児童対策地域協議会	〈子育て支援課〉	19

## 基本目標②：すべての子どもが明るくのびのびと成長する子育ての環境づくり

就学前乳幼児教育	〈保育課〉	20
小中一貫教育	〈指導課〉	21
すまいるスクール	〈子育て支援課〉	22
子どもを見守る地域ネットワーク	〈地域活動課〉	23
ティーンズプラザ	〈子育て支援課〉	24
体験型育成事業	〈青少年育成課〉	25

## 基本目標③：区民一人ひとりが地域や家庭の一員として役割を果たす環境づくり

地域スポーツ活動(校庭開放)	〈庶務課〉	26
青少年社会貢献活動支援	〈青少年育成課、子育て支援課〉	27
親育ちサポート事業	〈子育て支援課、保育課〉	28

## 後期行動計画 施策体系・重点事業(平成25年度)

事業名	健やか親子支援事業
基本目標	①だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり
施策の方向性	1)健康で安心感のある子育ての環境づくり
主な施策	母子の健康確保の充実
担当課	保健センター

### 1. 事業の主目的

子どもの健やかな成長と子育てに対する不安を解消するため、妊娠期から乳幼児期の発達・発育や障害などの状況に応じた専門相談の機会を提供するほか、子育てに関する知識の普及、情報提供等を行います。

### 2. 事業の背景または経緯

核家族化や夫婦共働き家庭の一般化などによる家庭環境の変化により、両親ともに育児に関する知識・経験が乏しく、また周囲からの支援を受けることが困難な状況になっています。このため、妊娠期から子育て期まで「切れ目のない支援」により子育て情報の提供や、仲間づくり、妊娠期からの相談と健診の充実が一層求められています。

### 3. 事業概要及び実績

#### 概要

#### (1) 健やか親子学習

妊娠期から育児期において、育児不安を軽減し、安心して子育てできるよう、各種学級を通して父親の参加、母親同士の交流、仲間作りの機会を提供しています。

##### ◆主な内容

- ①マタニティクラス
- ②二人で子育て
- ③乳児期前期育児学級

#### (2) 乳幼児の各種健康診査

対象のすべての子どもを対象に保健センターで身体測定、歯科健診、小児科医による診察等を実施しているほか、保健師、栄養師、歯科衛生士、臨床心理士による個別相談も行っています。

##### ◆主な内容

- ①4ヶ月児健康診査
- ②1才6ヶ月児健康診査
- ③3才児健康診査

#### 実績

#### (1) 健やか親子学習

##### ◆延べ参加者数

(単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
①マタニティクラス	1,329	1,386	1,195
②二人で子育て	1,613	1,633	1,626
③乳児期前期育児学級	2,224	2,450	2,401

#### (2) 乳幼児の各種健康診査

##### ◆受診者数(カッコ内は受診率)

(単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
①4ヶ月児健康診査	3,010 (95.5%)	3,189 (98.0%)	3,230 (96.5%)
②1才6ヶ月児健康診査	2,764 (92.0%)	2,881 (93.0%)	2,931 (93.8%)
③3才児健康診査	2,463 (88.6%)	2,647 (91.9%)	2,739 (92.0%)

事業名	休日・小児夜間診療
基本目標	①だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり
施策の方向性	1)健康で安心感のある子育ての環境づくり
主な施策	母子の健康確保の充実
担当課	健康課

### 1. 事業の主目的

年間を通じ小児初期救急体制を確保して、夜間・休日における子どもの医療不安を解消し、安心して子育てを行なう環境を整備しています。

### 2. 事業の背景または経緯

#### ①小児(平日)夜間診療

平成14年11月から荏原医師会附属診療所で開設。平成20年4月から昭和大学病院内「品川区こども夜間救急室」に場所を移して実施しています。

#### ②土曜日夜間診療

平成19年2月から品川区・荏原両医師会休日診療所で開設し隔週で実施。平成20年4月に荏原医師会実施分を昭和大学病院内「品川区こども夜間救急室」へ移転しました。

#### ③休日診療

昭和54年4月から輪番制で実施。荏原地区は平成6年12月から荏原医師会休日診療所で実施、品川地区は平成11年から品川区医師会休日診療所と輪番制(1ヶ所)で実施しています。

### 3. 事業概要及び実績

#### 概要

夜間や休日の急な病気に対応するため、地区の医師会等の協力のもと、診療を実施しています。

#### ①小児(平日)夜間診療

◆時間：20:00～23:00

◆施設数：1ヶ所(昭和大学病院「品川区こども夜間救急室」)

#### ②土曜日夜間診療

◆時間：17:00～22:00

◆施設数：2ヶ所(品川区医師会休日診療所(第1・3・5週)、昭和大学病院(第2・4週))

#### ③休日診療

◆時間：昼間9:00～17:00 準夜間17:00～22:00

◆施設数：昼間 3ヶ所(品川区・荏原両医師会休日診療所ほか1ヶ所)  
準夜間2ヶ所(品川区・荏原両医師会休日診療所)

#### 実績

◆延べ受診者数

(単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
①小児(平日)夜間診療	1,551	1,558	1,386
②土曜日夜間診療	976	953	879
③休日(昼間)診療	7,907	8,101	8,819
③休日(準夜間)診療	2,256	2,240	2,491

事業名	すくすく赤ちゃん訪問事業
基本目標	①だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり
施策の方向性	1)健康で安心感のある子育ての環境づくり
主な施策	安心して相談できる機会の拡充
担当課	保健センター、子育て支援課

### 1. 事業の主目的

保健師・訪問指導員が新生児のいる家庭を訪問することで、乳児期早期の育児不安を解消し、子どもの健やかな発育を支援します。また、事業を充実させるため、児童センター職員が継続的に家庭を訪問して子育てに関する相談や情報提供を行い、要支援家庭等の早期発見に努めます。

### 2. 事業の背景または経緯

乳児期早期であることから親子で外出することが困難であり、他から援助が受けられずに地域から孤立し、発見が遅れ深刻な事態に至るケースが発生しており、出産後の要支援家庭の早期発見が課題となっています。

国が発表した、「子ども虐待による死亡事故等の検証結果報告」(平成17年4月第1次、平成18年3月第2次)においても、虐待の死亡事例に占める、1歳未満の乳児の割合が高く、妊娠期から出産後まで切れ目のない支援を行うことが重要であると報告されています。

このような中で、平成19年度から乳児家庭の孤立化を防ぎ、健全な育成環境の確保を図るために、国では「こんには赤ちゃん事業」(生後4か月までの全戸訪問事業)を始めました。区においてもこの趣旨をふまえ、従来保健センターが実施していた新生児訪問をさらに拡大し、平成19年度より「すくすく赤ちゃん訪問」として生後4ヶ月までの新生児のいる全家庭を訪問する事業を実施しています。

### 3. 事業概要及び実績

#### 概要

概ね生後2ヶ月までの新生児のいる家庭を保健師・訪問指導員が訪問し、育児の心配事への相談や地域の子育て支援情報の提供を行います。

訪問を受けられなかった家庭にも、児童センター職員が民生児童委員等の協力のもと継続的に家庭を訪問し、育児についてのアドバイスや子育て事業への参加の呼びかけ等支援を行っています。

また図書館事業と連携し、「ブックスタート」を実施、赤ちゃんに読んであげたい絵本を贈ります。

#### 実績

◆訪問件数等 (単位:件、人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
◆訪問件数	2,256	2,455	2,672
内 保健センター	2,142	2,402	2,642
訳 児童センター	114	53	30
◆出生通知票受理件数	2,245	2,387	2,505
◆出生数	3,149	3,255	3,346
◆訪問率	71.6%	75.4%	79.9%

※訪問率は、訪問件数を出生数で除した数値である。

事業名	子育て相談（子育てプラン作成）
基本目標	①だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり
施策の方向性	1)健康で安心感のある子育ての環境づくり
主な施策	出産・子育て期のライフプラン作成支援
担当課	保育課

**1. 事業の主目的**

妊娠期から就学前までを見据えて、見通しをもって安心して家庭内で子育てができるよう個別の相談に応じながら子育てプランの作成を支援します。

**2. 事業の背景または経緯**

多様な子育てに関する相談窓口がありますが、相談者のニーズに合わせて妊娠期から就学前までのトータルな相談をうける機能を担う窓口はありませんでした。そこで子育てへの不安を解消していくため、相談員が相談者のニーズに合わせて、出産、家庭内育児、保育園・幼稚園の入園など就学前までの期間の子育て支援事業の紹介をしながらプラン作成を支援しています。

**3. 事業概要及び実績**

**概要**

◆子育てプランの作成

妊娠中の方から小学校就学前までの子どもの保護者を対象に、子育て支援事業の紹介や情報提供を行い、子どもの状況やライフスタイルに応じた就学までの子育てプランの作成を支援します。

**実績**

(単位:件)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
◆プラン作成件数	193	221	259

事業名	各種助成事業（子どもすこやか医療費助成）
基本目標	①だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり
施策の方向性	1)健康で安心感のある子育ての環境づくり
主な施策	子育てに関わる経済的支援の拡充
担当課	青少年育成課

### 1. 事業の主目的

子どもの健全育成および保健の向上を図り、また安心して子育てができるよう経済的支援を行います。

### 2. 事業の背景または経緯

平成5年に東京都が乳幼児医療費助成として発足させた制度で、当初は児童手当の受給者と同じ対象者でしたが、平成17年1月1日から全国に先駆けて対象となる子どもの年齢を引き上げ、所得制限を無くすことで、小学6年生までの全ての子どもを対象にする「子どもすこやか医療費助成」として制度の充実を図りました。

さらに平成19年10月から東京都で実施した義務教育就学児医療費助成制度と事業を統合し、対象者を中学3年生までの全ての子どもに拡大しました。

### 3. 事業概要及び実績

#### 概要

子どもの健康保険適用の診療による医療費の自己負担を助成します。

- ◆対象者(0才～中学3年生「15歳到達後最初の3月31日まで」)
- ◆所得制限:なし
- ◆内容:保険診療による自己負担分、および入院時食事標準負担額を助成します。

#### 実績

(単位:件)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
◆医療証交付件数	39,534	40,196	40,875
◆医療機関受診件数	683,075	694,069	734,229

事業名	各種助成事業（私立幼稚園入園料・保育料、認証保育所保育料の助成）
基本目標	①だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり
施策の方向性	1)健康で安心感のある子育ての環境づくり
主な施策	子育てに関わる経済的支援の拡充
担当課	保育課

### 1. 事業の主目的

安心して子育てができるよう経済的支援の一層の充実を図り、子育て家庭を支援します。

### 2. 事業の背景または経緯

- ・公・私立幼稚園間における保護者負担の格差解消に対応する必要があります。
- ・近年、保育園の入園待機児童が認証保育所を利用するケースが増加しており、保護者の負担軽減に対応する必要があります。

### 3. 事業概要及び実績

#### 概要

#### (1)私立幼稚園保護者補助金

区内在住で、私立幼稚園または類似施設に在園する満3歳児から小学校就学の始期に達する園児の保護者に対し、補助金を交付します。

◆就園奨励費、保護者補助金：住民税額や世帯構成により、84,000円～463,400円の補助金を支給します（所得制限あり）。

◆入園料補助：100,000円（実際に負担した入園料が100,000円を下回る場合はその金額）（所得制限なし、一人につき1回のみ）

#### (2)認証保育所保育料助成

認証保育所を利用している保護者に対し、保育料の一部を助成し、利用者の負担軽減を図ります。

◆対象者 2歳児以下：区内在住で、認証保育所と月ぎめ160時間以上の利用契約をしている児童の保護者  
3歳児以上：区内在住で、認証保育所と月ぎめ160時間以上の利用契約をしていて、認可保育園の入園申込みをして内定がでなかった児童の保護者

◆助成額 2歳児以下：認可保育園に入園した場合の保育料（所得税額により30階層に区分）と、実際に各認証保育所に支払っている基本保育料（上限66,000円）との差額を助成  
3歳児以上：所得税額により区分した階層に応じた0～4万円を助成

#### 実績

#### (1)私立幼稚園入園料・保育料助成 実人数 (単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
◆就園奨励費	1,624	1,616	1,488
◆入園料補助	1,329	1,301	1,277
◆保育料補助	2,143	2,105	2,235

#### (2)認証保育所保育料助成 (単位：人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
◆助成人数	542	639	708



事業名	チャイルドステーション事業（児童センター等）
基本目標	①だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり
施策の方向性	2)在宅子育てへの支援充実
主な施策	子育て支援および情報提供機能の充実
担当課	子育て支援課

### 1. 事業の主目的

子育てに関する相談や親同士の交流や情報交換のできる地域の身近な場所として、妊娠期から子育てを支援します。また授乳やおむつ交換の場として利用できるスペース等、安心して外出できるよう施設を整備します。

### 2. 事業の背景または経緯

核家族化の進行やコミュニティの希薄化により、子育てについて気軽に助言や支援が受けられないことから、自分の子育てに自信が持てない子育て家庭が増加しています。また、少子化により、子どもを接点とする交流や仲間づくりが困難な状況にあります。

妊娠期から積極的に子育て家庭に働きかけることにより、育児不安や孤立感の解消をはかっていく必要があります。また、子育て家庭が、授乳やおむつ交換などを心配することなく街に出られるような環境をつくる必要があります。

### 3. 事業概要及び実績

#### 概要

#### (1) 児童センターにおけるチャイルドステーション事業

児童センターを、子育てに関する相談が気軽にでき、仲間同士での交流や情報交換のできる場として登録してもらい、妊娠期から地域の身近な施設として子育てを支援します。

#### (2) 施設の整備

公共施設や商店街に授乳スペース、ベビーシート（おむつ交換台）、ベビーカー（親子トイレ）等を設置します。

#### 実績

#### (1) 児童センターにおけるチャイルドステーション事業

（単位：ヶ所、人）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
◆実施施設数	25	25	25
◆登録者数	1,243	1,149	1,323

#### (2) 施設の整備

（単位：ヶ所）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
◆実施施設数	14	1	1
内訳			
公共施設	14	1	
商店街・民間施設			1

事業名	チャイルドステーション事業（保育園、幼稚園）
基本目標	①だれもが安心して生み育てることができる子育て環境づくり
施策の方向性	2)在宅子育てへの支援充実
主な施策	子育て支援および情報提供機能の充実
担当課	保育課

### 1. 事業の主目的

保育園・幼稚園を地域に開放し、様々な事業を実施することで、保育士等が子育てに関する専門知識を提供し、保護者が気軽に相談できる場として、地域の子育て支援の充実を図ります。

### 2. 事業の背景または経緯

核家族化の進展や地域コミュニティの希薄化により、子育てに不安を抱え、孤立した子育てを行っている保護者が増えています。保育園施設を地域に開放し、さまざまな事業を実施することにより、地域の保護者が気軽に子育て相談ができる環境を整備しています。

### 3. 事業概要及び実績

#### 概要

#### (1)内容

- ・保育体験（月4回程度）
- ・施設見学・子育て相談（随時）

#### (2)実施園

全区立保育園(二葉つぼみ保育園を除く)

#### (3)対象

在宅で子育てしている乳幼児親子と妊産婦

#### (4)実施日

1園あたり月4回程度 各保育園が定める日  
※実施園は広報で周知します。

#### 実績

#### ◆保育体験事業

(単位:ヶ所、人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
◆実施園数	39	40	40
◆延べ利用者数	3,439	2,174	1,542